

「高校歴史教科書検定での沖縄戦『集団自決』に関する記載内容」への

修正指示撤回を求める要請書

2007年3月30日に公表された高等学校歴史教科書の検定結果によれば、文部科学省は、沖縄戦における集団死・「集団自決」について「日本軍による自決命令や強要があった」とする5社、7冊に対し、「沖縄戦の実態について誤解する恐れのある表現」として修正を指示し、日本軍による命令・強制・誘導等の表現を削除、修正させたことが明らかになりました。

沖縄戦における「集団自決」は、第3次家永教科書裁判（「集団自決の原因については、日本軍の存在とその誘導」かつ「一律に集団自決と表現したり、美化したりすることは適切でないという指摘」を認定）においても明確に示されている歴史的事実です。

さらに「日本軍によって強制された「集団自決」(集団死)」が日本軍の住民虐殺と併せて沖縄戦研究の定説として教科書に記述されてきました。

私たちは、この検定結果は沖縄戦の実相を歪めるものであり、戦争の本質を覆い隠すもので、沖縄の未来を担う子どもはおるか、日本全国の子どもたちにこのような教科書がわたることを絶対に許すことはできません。

ついでに、今回の検定結果に強い抗議を示すとともに文部科学省は修正指示を撤回し、申請時の文章に戻すことを求めます。

【要請事項】

先の家永教科書裁判判決ならびに沖縄戦研究の成果をふまえ、今回の検定結果の修正指示を撤回し、申請時の文章に戻すことを求めます。

名 前	住 所

文部科学大臣 様

フォーラム平和・人権・環境（平和フォーラム）

連絡先 / 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 総評会館 1F

TEL 03 - 5289 - 8222 FAX 03 - 5289 - 8223